

1. 適用範囲

本指定書は、PQ50・PQ50S・PQ50W・PQ50WA・PQ50WT シリーズのハウジングに
圧着端子を挿入した際の挿入不良有無確認の為のピン押し検査治具の取り扱いについて
規定します。

2. 対象製品

<ハウジング>

PQ50・PQ50S・PQ50W・PQ50WA・PQ50WT シリーズハウジング

<端子>

PQ50-****PC*A ・ PQ50A-****PC*A (オス端子)

PQ50-****SC*A (メス端子)

① PQ50S2-****PC*A ・ PQ50SA2-****PC*A (オス端子)


① PQ50S2-****SC*A (メス端子)

<検査治具製品名>

PQ50S/IN-MD (CL:902-2538-0-00)

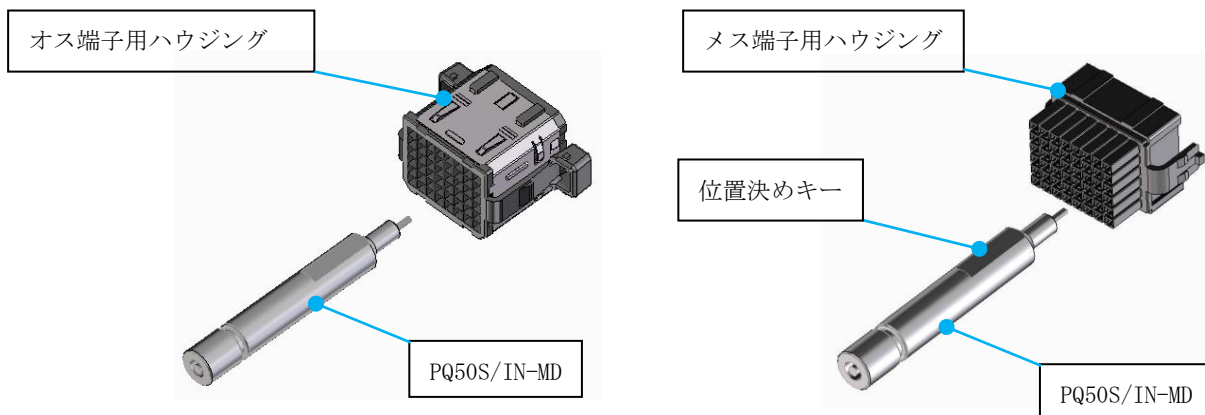
3. 作業手順

次ページ以降を参照願います。

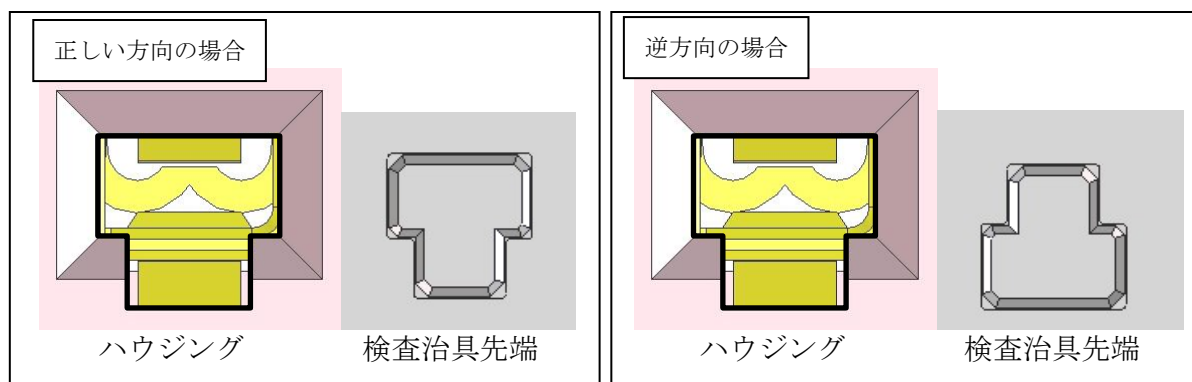
| COUNT | DESCRIPTION OF REVISIONS | DESIGNED | CHECKED | DATE |
|------------------------------|--------------------------|--|---------------|----------|
| ① 2 | DIS-E-00014651 | KIM JAEHYEON | KG. OKITA | 20230913 |
| 名 称 TITLE | |  HIROSE ELECTRIC CO., LTD. | | |
| PQ50S 端子抜け検査治具取り扱い説明書 | | APPROVED | MN. KENJO | 20200812 |
| | | CHECKED | TU. TANIGUCHI | 20200812 |
| | | DESIGNED | HY. MATSUDA | 20200811 |
| | | WRITTEN | HY. MATSUDA | 20200811 |
| 技術指定書 TECHICAL SPECIFICATION | | ATAD-E3223-00 | | ① 1 / 3 |

【作業手順】

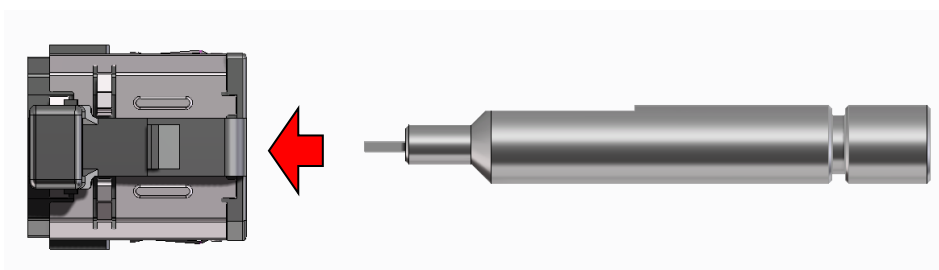
1. 圧着端子を挿入したハウジングに対し、検査治具を水平にセットします。



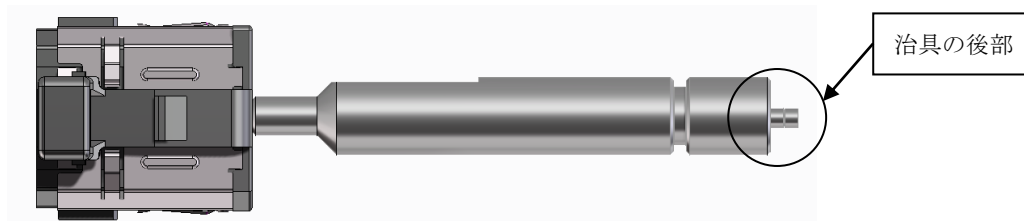
※ メス端子用ハウジングについては、逆方向に向けた場合、上手く検査できません。
また絶縁ケースの傷の原因にもなりますので、向きにご注意下さい。



2. 圧着端子が入っている穴に対して、検査治具先端をまっすぐ挿入します。
この際、絶縁ケースを傷つけないようにご注意ください。

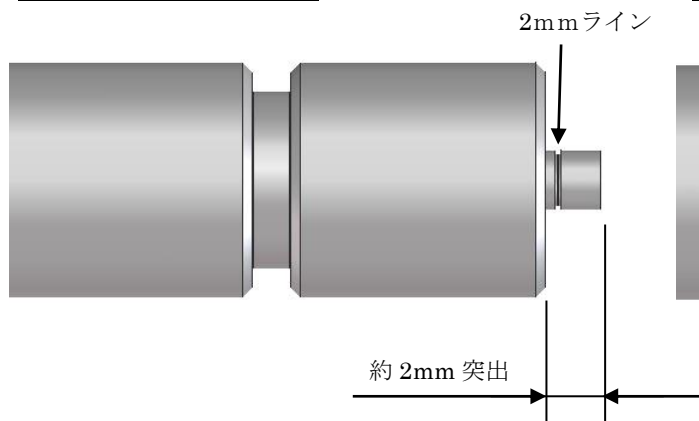


3. 治具が絶縁ケース端面に当たるまで押し込み、治具の後部を確認して下さい。
(判定は、合否判定基準を参照)

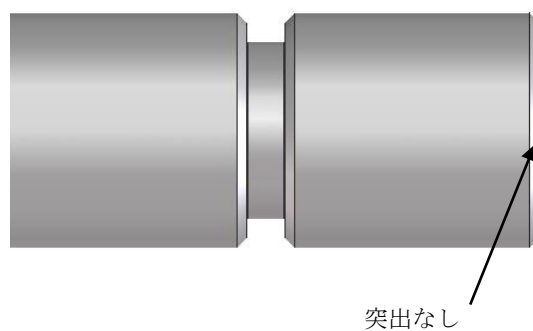


4. 合否判定基準

OK 端子抜けなし



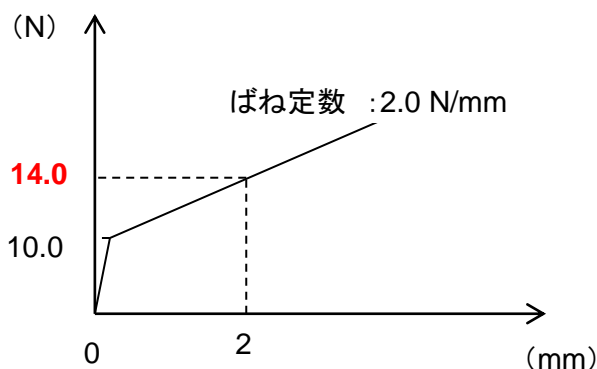
NG 端子抜けあり



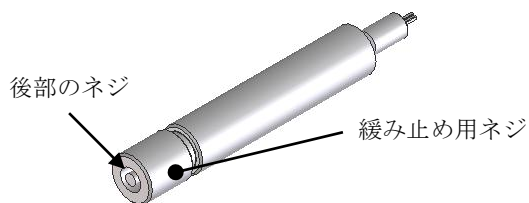
5. 使用上の御注意

- ・ 治具の中には、バネが入っており、定量的に力を加えることのできる構造になっておりますので、分解等はしないようお願い致します。
- ・ 本検査治具は、以下の押し込み力に設定しております。
2mm 押し込んだ際の押し込み力をプッシュプルゲージなどで、定期的に検査を行ってご使用下さい。

2mm 稼動時の適正押し込み力：13～17N



- ・ 押し込み力が適正值から外れる場合は、治具の後部のネジを回転して調整して下さい。調整する際には側面の緩み止め用ネジを緩めてから行い、調整後には締め付けて下さい。



- ・ 紐などを取り付ける場合、下図の溝をご使用下さい。

